

科目名	簿記会計 2							年度	2026
英語科目名	Bookkeeping accounting 2							学期	前期
学科・学年	情報ビジネス科 2年次	必/選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	演習
担当教員	郡 若好	教員の実務経験		無	実務経験の職種				

【科目の目的】

企業の経営状態を正確に数値化して客観的に測定することのできる簿記の技術は、社会人が身に付けておくべき必須スキルです。
日本商工会議所主催 簿記検定3級検定（通称：日商簿記3級）対策を通して、簿記を効率よく学ぶことが出来ます。
しっかり取り組んで日商3級の合格を勝ち取りましょう！

【科目の概要】

簿記は仕訳ができることが何よりも大切です。授業では毎回仕訳の小テストを行って知識の定着を図ります。また、仕訳以外の問題では、≪毎日の取引を記録計算し、決算整理を経て財務諸表を作成する≫という簿記一巡の流れがしっかり理解していないと出来ない問題が出題されます。問題ごとに、今取り組んでいるものが簿記の流れの中のどの部分の処理かを必ず確認しながら取り組んでいきます。財務諸表作成問題に関しては問題のパターンに慣れることが大事なので、パターン別攻略法を身につけ、合格点を目指します。

【到達目標】

- A 仕訳問題ができる（証ひょう問題を含む）
- B 勘定記入問題ができる
- C 帳簿関係の問題ができる（伝票会計を含む）
- D 精算表問題・決算整理後残高試算表作成問題ができる
- E 財務諸表作成問題ができる

【授業の注意点】

1. 必ず電卓を持ってくること
2. 理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。
3. 授業の進捗状況により内容が前後する場合あり。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	仕訳問題ではほぼ間違えることはない(たまに1~2問間違える位)	仕訳問題で80%程度得点が取れる(15問中3~4問間違える位)	仕訳問題で平均60%程度得点が取れる	勘定科目はわかるが借方貸方を間違えたり金額の計算ミスが多い	取引ごとに使う勘定科目がわからない
到達目標 B	勘定記入問題でいつも8割以上得点が取れる	再振替のある勘定記入問題が解ける・決算振替問題が解ける	経過勘定関係の再振替のない勘定記入問題か、有形固定資産関係の勘定記入問題のどちらもできる	経過勘定関係の再振替のない勘定記入問題か、有形固定資産関係の勘定記入問題のどちらかはその	勘定の締め切りがわかっていない
到達目標 C	帳簿関係問題でいつも8割以上とれる	レベル3に加えて固定資産台帳の問題が解ける	商品有高帳記入問題・売掛金、買掛金元帳関係の問題は解ける	主要簿・補助簿の違いがわかり、「補助簿の選択」の問題が解ける	主要簿・補助簿の違いが判らない・帳簿にはどのようなものがあるのかわからない
到達目標 D	精算表問題・決算整理後残高試算表作成問題でほぼ間違えることはない	精算表問題・決算整理後残高試算表作成問題共に70%以上点数が取れる	精算表作成問題で70%以上点数が取れるが、決算整理後残高試算表はあまりできない。	決算整理仕訳は大体わかるが、精算表の問題も決算整理後残高試算表の問題も解けない	決算整理が出来ない・精算表問題が解けない
到達目標 E	財務諸表作成問題でほぼ間違えることはない	財務諸表作成問題で確実に70%得点が取れる	財務諸表問題の解き方は大体わかるが、当期純利益・繰越利益剰余金の計算まではできない	財務諸表の表記と構造はわかっているが、問題は解けない	財務諸表の構造がわからないし、勘定科目と表記科目が違うことも知らない。

【教科書】

『合格するための本試験問題集 日商簿記3級』TAC出版

【参考資料】

『スッキリわかる日商簿記3級テキスト+問題集』滝澤ななみ著（TAC出版）

【成績の評価方法・評価基準】

【中間・期末試験(40点)】 + 【授業内課題・小テスト・授業点(60点)】 = 100点

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		簿記会計 2			年度	2026
英語表記		Bookkeeping accounting 2			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	第1問仕訳対策①	再頻出仕訳を解けるようにする	1 商品売買	仕入・売上取引の仕訳ができる	1	
			2 現金預金	預金口座の預入・現金過不足の処理ができる		
			3 商品有高帳問題	移動平均法の商品有高帳が書ける		
5	第1問仕訳対策②	様々な取引の仕訳を確認しよう	1 債権債務	金銭貸借の処理・貸倒れの処理が出来る	1	
			2 費用の支払い	給料の支払い時の仕訳ができる		
			3 売掛金買掛金元帳	総勘定元帳と売掛金買掛金元帳の関係がわかる		
3	第1問仕訳対策③	固定資産売却の仕訳にチャレンジする	1 仮払金・仮受金	旅費交通費の概算払い・内容不明の入金の処理ができる	1	
			2 有形固定資産	購入・売却時の仕訳ができる・修繕改良の仕訳が出来る		
			3 固定資産台帳問題	固定資産台帳を読み取ることが出来る		
4	第1問仕訳対策④	帳簿の種類と違いを確認しよう	1 純資産	株式の発行・繰越利益剰余金の配当・利益準備金の積み立ての処理ができる	1	
			2 株式会社の税金	消費税・法人税等の仕訳ができる		
			3 補助簿の選択	主要簿・補助記入帳・補助元帳の違いがわかる		
5	第3問対策①「精算表作成問題」	決算整理を復習しよう	1 決算整理	決算整理仕訳ができる	1	
			2 精算表作成	精算表問題で7割以上点数を取ることができ		
			3 証ひょう問題対策	証ひょうから仕訳をきることが出来る		
6	第3問対策②「財務諸表作成問題」	再頻出の財務諸表作成問題のポイントをおさえる	1 損益計算書作成	損益計算書作成問題で7割以上点数を取ることが出来る	1	
			2 貸借対照表作成	貸借対照表作成問題で7割以上点数を取ることが出来る		
			3 伝票会計	伝票から取引を推定できる		
7	第3問対策③決算整理後残高試算表作成問題	決算整理後残高試算表作成問題に慣れよう	1 決算整理後残高試算表	決算整理後残高試算表作成問題で7割以上点数をとることが出来る	1	
8	中間テスト	理解度を図る	1 第1問対策	仕訳確認問題を7割以上とることが出来る	1	
			2 第3問対策	財務諸表作成確認問題が解ける		
			3 中間テスト	総復習		
9	第2問対策①	勘定記入問題に慣れよう	1 未払費用	未払費用計上の勘定記入問題がとける	1	
			2 未収収益	未収収益の計上の勘定記入問題が出来る		
			3 第1回問題演習①	第1回の問題を最後まで解く		
10	第2問対策②	問題を解き直してみよう	1 前払費用	前払費用の計上の勘定記入問題が出来る	1	
			2 決算振替	決算振替の意味を確認する		
			3 第1回問題演習②	第1回の問題の解き直しをする		
11	第2問対策③	勘定記入問題に取り組む	1 有形固定資産の勘定	有形固定資産関係の勘定記入問題ができる	1	
			2 固定資産取引の復習	取得・売却・減価償却の計算ができる		
			3 第2回問題演習①	第2回の問題を最後まで解く		
12	第2回問題演習②	出題パターンに慣れよう	1 第2回問題演習②	第2回の問題を自分の力で解き直しをする	1	
			2 第2回問題演習	数値替えの問題で、合格点が取れる		
13	第3回問題演習	出題パターンに慣れよう	1 第3回問題演習①	第3回の問題を最後まで解く	1	
			2 第3回問題演習②	数値替えの問題で、合格点が取れる		
14	第4回問題演習	出題パターンに慣れよう	1 第4回問題演習①	第4回の問題を最後まで解く	1	
			2 第4回問題演習②	数値替えの問題で、合格点が取れる		
15	ネット問題	PC上で問題演習してみよう	1 ネット問題演習	PC上で模擬試験プログラム第1回の問題を最後まで解く	1	
			2 解き直し	時間を測り解き直し、合格点がとれる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等